

資料提供  
(県政・南部同時)

提供日：平成29年(2017年)4月21日(金)  
部局：琵琶湖環境部  
所属：滋賀県立琵琶湖博物館  
担当：金尾滋史  
電話：077-568-4811  
E-mail：press@lbm.go.jp



琵琶湖博物館 水族展示室

## 『下流域の魚たち』水槽にヤナを設置しました！

琵琶湖博物館水族展示室にある「下流域の魚たちと築漁」コーナーでは、この季節に川の下流域で行われている『ヤナ漁』を再現するために、水槽内にヤナを設置しました。

ヤナ（築）とは、春から夏にかけて琵琶湖に流れ込む川の下流域に設置される定置漁具で、主に琵琶湖から川をのぼってくるアユなどをとる伝統的な漁法です。

水族展示室では2016年7月のリニューアルにあわせてこのコーナーを新装し、季節に応じて琵琶湖から遡上してくる魚たちとその風景を紹介するため、流れのある水槽を新設しました。昨年度から季節に合わせてアユ、ハス、ビワマスなどを展示しています。今回は、ヤナ漁の季節にあわせて水槽にヤナを設置し、さらに3月から5月にかけて産卵のために琵琶湖から川に遡上してくるウグイをこの水槽では初めて展示しています。運がよければ、ウグイがヤナを飛び越えようとジャンプする姿や、水槽内で産卵をする瞬間に出会えるかもしれません。

### 「下流域の魚たち」水槽の概要

- 場 所 水族展示室 下流域の魚たちと築漁 コーナー
- 水槽の大きさ 長さ：6m 奥行：1.5m 水深：40cm
- 水槽の特徴：館内で唯一流れを作ることのできる水槽で、季節によって背景のパネルを変更しています（現在は春～初夏に行なわれているヤナ漁の写真）
- 現在の展示生物：ウグイ（コイ科）、ウツセミカジカ（カジカ科）



ヤナを設置した「下流域の魚たち」水槽の全景



「下流域の魚たち」水槽で泳いでいるウグイ